



永遠のバンドマンたちの熱い祭典！

2月23日に、文化センターホールで『第5回きたもとアマチュアバンドフェスティバル』が開催されました。市内中高生の演奏を皮切りに、全12バンドが熱い演奏を披露しました。グランプリは『トモヒロ』、特別賞は『THE北陸ハリケーンズ』が受賞しました。



心の成長を願って

2月13日、北本市更生保護女性会会長の金井様へ平成24年度第1、2四半期感謝状を贈呈しました。北本市更生保護女性会様は本市の教育振興のため、数年にわたり市内中学校4校に図書の寄付をいただいています。



火災から地域を守る新たな1台へ

北本市消防団第4分団の消防ポンプ車は、購入から16年が経過するとともに、NO_x(窒素酸化物)規制により、今後、車検取得が不可能となるため、入れ替えを行いました。市内の火災予防広報活動や火災発生時に活動します。



最新鋭高機能消防指令システム運用開始！

埼玉県央広域消防本部では、機能を向上させた高機能消防指令システムを3月1日から運用開始しました。最新鋭の機器により、119番通報者の位置が地図に表示され、災害現場に一番近い消防車などに出動指令を発する機能などが新たに搭載されました。

人口減少社会

市長のほっと・とく

北本市の平成25年1月1日現在の人口は6万9,225人。65歳以上の高齢者人口は1万6,611人で高齢化率は24%、平成24年中の出生数は459人、死亡数は574人でした。

10年前の平成15年の出生数は670人、死亡数は414人で200人以上の自然増がありました。平成22年から死亡数が出生数を上回る自然減に転じています。

転出入は年によってかなりばらつきがありますが、おおむね200人以上の転出超過で社会減が続いており、これまでは社会減を自然増が補っていましたが、自然減により、平成17年をピークに人口が減少し始めました。

国立社会保障・人口問題研究所のデータによると、2035年にはお隣の桶川市とともに、本市の人口は約5万9,000人になる見込みです。また、日本の人口は2048年に1億人を割り込み、2100年に4,959万人にまで減少すると予測されています。人口予測は最も確率の高い統計と聞きました。

都心回帰、ベッドタウンの過疎化の中、「選ばれたまち」は、今お住まいの方が「住みやすい」まちであり、市外の方が「住みたい」まちになることであると考えます。

そのために、従来のサービスを充実し、さらに北本市の魅力を増す先進的な事業に平成25年度も積極的に取り組んでまいります。



北本市長 石津 賢治